

、日照不足の影響により、全体的に出来の厳しい年だったように感じております。

早いもので、二一世紀に入り一〇年になるうとしておりますが、農業を取り巻く環境は、厳しくなるばかりで、一向に先行きが見えてまいりません。

今年こそは、長年培ってきた技術、発想、努力、そして新しい政権への期待を持ち、組合員の皆様には頑張ってもらいたいと思います。女性部に関しては、あまり無理をせずに、昨年と同様に明るく、楽しく続けられれば良いなあと思

っております。

また、もぎたて朝市については、例年通り多くのお客様にお越し頂き、盛況のうちに開催を終了することができ、大変感謝しております。

最後に本年も組合員、各関係機関の皆様にとりまして、生涯最良の年でありますように祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年明けましておめでとうございます。組合員、各関係機関の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと景気の悪化を原因とした農畜産物の価格低迷や資材価格の高騰など、農業を取り巻く環境が一段と厳しくなった一年となりました。

農業情勢においては、昨年九月の衆院選で政権交代を果たした民主党が、政権公約として掲げるFTA交渉や戸別補償制度に対する懸念が強く、今後の動向の変化を注意深く見守っていかねばなりません。

不慣れながらも昨年から部長を務めさせて頂いておりますが、その中で昨年最も力を入れた活動の一つに後継者対策がありました。先月開催された全道JA青年部大

会においても、後継者対策については、道内どの地域でも深刻な問題として取り上げられており、今年も引き続き後継者対策には、力を入れていこうと考えております。

また、青年部の重要な活動にはハロウィンもあります。昨年で三回目を迎えるはずでしたが、インフルエンザの影響により、開催を自粛致しました。それまでに各幼稚園・保育所の方々には多くの協力を賜り、また、開催中止の報告に訪問させて頂いた際には、激励の言葉や保護者の方たちが開催を心待ちにしていた様子などを教えて頂き、今年こそは皆様の期待に応えたいという気持ちをより一層深めることとなりました。

今年も団結力を強め、マチづくりの一環としての活動が出来る青年部を目指し、何事に対しても積極的に活動をし、若い力を存分に発揮していきたいと考えております。

本年も組合員の方々をはじめとした皆様にとつて、実り多き年になることをお祈り致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。